



# ～hugくみ～



## 責任・行動・協力

期末テストが終わりました。東中学校では、これから学年行事、学校行事の取り組みが、本格的に動き出していきます。とりわけ今年度は、修学旅行が9月に延期され、学校行事は最高学年として重要な役割を担い、青空学年の生徒たちがそれぞれの取り組みに今後どのような意識をもって臨んでいくのかが、とても大きな意味を持つこととなります。そこで今回は、ここからの学校生活の過ごし方について、私自身の思い出をもとにお伝えさせていただきたいと思います。

今から10年近く前のある日、前任校で3年生の学級担任をしていた頃の出来事です。その日の帰り学活も終わり職員室に戻って仕事をしていたところに、「先生、大変です!？」と他学年の生徒が駆けつけてきました。その生徒に連れられ、ある教室に向かうと、その教室には物が散乱していました。机も乱れていました。その教室を片づけている生徒が数名いました。そんな中教室奥の窓際に目をやると、壁に向かって腰を下ろし、涙を流している男子生徒がいました。その生徒に歩み寄り、彼の話に耳を傾けました。——彼は、誰よりも強くクラスのことを思い、前向きに呼びかけを続ける善きリーダー（学級委員）でした。けれど、そんな彼の頑張りとはなかなかクラスメイトの心には届かず、その時のクラスは落ち着かない状態にありました。そんな落ち着きのなさがピークに達したのがこの日で、帰り学活の最中に言い合いが起り、教室内を物が飛んだのだそうです。どうにもならない状況の中で、学級委員の彼は自分を責め、打ちひしがれていました。そして、その出来事があってから数か月後、2年続けて3学年を担当することとなった私は、縁あってそんな彼の担任となりました。そして学級委員選出の時、周りから多くの信頼を集めていた彼は、クラスのほぼ全員から推薦を得ました。しかし彼は、首を縦には振りませんでした。学級委員になることをためらっていました。そんな彼を見ながら、私の胸はずきずきと痛みました。教室の片隅で涙を流す彼の姿を思い出したからです。思案の末に彼は私や新しいクラスメイトに向かって「時間をください」と言いました。だから一日待ちました。彼の結論が「やらない」というものでも、彼の意思を受け入れようと私は思っていました。しかし翌日、彼の返事は「やります」の一言でした。たったそれだけの短い言葉でしたが、その一言にどれだけの決意が込められていたのか、私には痛いほどわかりました。だから私は、クラスみんなに言いました。「〇〇が学級委員の仕事を終えた時に『やってよかった』と思えるクラスであってほしい。みんなで推薦してみんなで選んだことに責任を持ってほしい」と。その後、もちろんすべてがすべて順風満帆というわけではなく、修学旅行、体育祭、その他さまざまな取り組みの中で色々なことがありました。もめごとがあったり、話し合いを重ねたり、誰かが涙を流したり…。そんな色々がありながら時は流れ、いよいよ前期学級委員最後の日、いつも通りにたんたんと過ぎていった一日の最後に、クラスみんなからちょっとしたサプライズで感謝の気持ちを伝え、彼は「やってよかった」と言ってくれました。そしてそんな彼の目からは大粒の涙が次から次へとこぼれていました。そんな彼を、クラスみんなは優しい笑顔で見守っていました。

今、期末テストが終わり、様々な取り組み（修学旅行、文化祭、体育祭など）が慌ただしく動き出していく中で、きっと青空学年の生徒たちは、疲れもするし、苦労もあることでしょう。

学年目標

# 飛

～素直な心でお互いに尊重し合い、小さな翼を立派に成長させて未来へ翔けだそう～

《修学旅行 目標》

## Ultimate School Trip

～究極の修学旅行～

- 一、団結をして仲を深める
- 一、伝統文化を学び、思い出に残す
- 一、コロナに負けるな！健康第一！
- 一、ルールを守って、安全に気をつける
- 一、パツと臨機応変に行動、ピースを大事に

そんな時、生徒たちにはふと自分の周りに目を向けてみてほしいです。前回の学年日よりで紹介したように、この学年には、この学年のことが好きでみんなですごす残りの時間を大切にしたいと考える人たちが確実にいます。また、この学年が前に進んでいくために時間と心を費やしてくれている人が確実にいます。そんな人たちの心をきちんと受け止め、何かを返せる学年であってほしいです。卒業の日、「この青空学年でよかった」と互いに言い合える学年になってほしいです。そしてそれは、誰かにそうしてもらうのではなく、一人ひとりの責任で創りあげるものなのです。学校生活の中における一つ一つの行動によって創りあげるものなのです。互いを思う協力によって創りあげるものなのです。それぞれの取り組みには、色長・団長（体育祭）、合唱委員（文化祭）、実行委員や係長（修学旅行）、学級委員（日常の学校生活）など、様々なリーダーがいますが、リーダーはあくまでも集団をまとめるために中心的な役割を担っている集団の「一員」です。その点では、すべての生徒が集団の大切な「一員」であることに変わりはありません。であればどの取り組みにおいても、それがうまく行くためにはそれぞれの立場や役割に関係なく、一人ひとりの責任や行動、そして互いの協力を高めていくことが必要不可欠です。だからこそ、それぞれの取り組みの意味を、一人ひとりが考えて行動して行ってほしいです。少しずつでも確実に、青空学年みんなで前へと進んで行ってほしいです。

兼好法師とは…随筆「徒然草」の作者で、鋭い観察眼をもった人物です。

## 学年集会 ～それぞれの進路選択に向けて～

期末テストが終わり、各テストの返却も進んでいる中、7月1日（木）に第1回進路希望調査の提出〆切があり、9日（金）からは三者面談が始まり、進路選択に向けての動きが、まさにこれから本格化していきます。そんな中、25日（金）の6校時に学年集会を行い、「進路」を考える上で学年全体として大切にしてほしいことを、青空学年の兼好法師こと1組担任の大岩から独特の言い回しで生徒たちに向けて語り掛けるように伝えさせていただきました。

具体的には次のような内容を伝えました。進路というものは「自分で決めて自分で動く」ことを前提とした個人個人の取り組みであること。「自分に合った進路を見つける」ことが何より大切な中で、それは誰かと比べるものではないこと。ましてや学力差によってどこかの学校を下に見る悲しい言い方は絶対にしてほしくないこと。学校ごとに学力差があるのは、それぞれの学習に対する自分に合った取り組み方（難しい課題にどんどんチャレンジしながら自分を高めていきたいのか、少し時間をかけてゆっくりじっくり知識や考え方を身につけていきたいのか）を選べるためにあるのだということ、などです。

この青空学年における進路の取り組みは「みんなで進み、互いに支えあっていく」ということも大切にしていきたいものなので、ここで話した内容が生徒たちの心にしっかりと残って行ってくれることを願います。

## 今後の予定

(今 週)

日	曜	行事等
28	月	全校朝会(色決め) 諸活動停止 市内一斉引き渡し訓練
29	火	
30	水	過去問題集集金〆切(希望者)
7/1	木	45分授業 集金最終日 第1回進路希望調査〆切
2	金	

(来 週)

日	曜	行事等
5	月	諸活動停止
6	火	進路講話会(3年生リモート参加)
7	水	色別総会
8	木	1学期弁当給食最終日
9	金	三者面談 半日日課開始

※「諸活動停止」は放課後の活動がすべて無しで帰り学活後に全員下校することを示します。  
※月間を通しての行事予定は、学校だよりおよび学校ホームページにてご確認ください。